

御所湖随想

H22年5月 No.8

やっと咲いた



今年の4月の天候は、まことに寒かった。平年の月平均気温は7.4であるのに、今年は5.6だった。2月はとても暖かく、このまま春にはならないと思っていたが、これほど低い状態が続くとは……。おかげで、春先の予定が狂った人たちが多かったのではないだろうか。一番影響を被ったのは農家の人たちだろう。最近の稲作は、以前に比べ相当に早い時期から田植えをしている。東北は、夏の暑い時期が短く、イネが熟すために必要な積算気温を確保するため、あまり遅い田植えになると、収穫を逸することに繋がる。

何はともあれ、5月の声を聞いたとたんに、気温は急上昇。花が一斉に開いてきた。梅が3日ほど早く咲き、ソメイヨシノが続いた。例年であれば開花から満開まで3～5日ほどかかる

のが、あれよあれよという間に2日間ほどで満開になった。

今年は、ウソによる被害が少ないようで花付きはすこぶる良い。花が枝先にみっちりや付いている。この時期になると、“ここにもある。あそこにも”と白いサクラの花をみることができ、日本人はほんとに桜が好きなんだなあと思わせる。ずいぶん白い桜だと思ったら、コブシの花だということも多い。普段であれば、桜より早く咲いているのだが、コブシの開花も遅れている。ちなみに種まき桜というのはコブシのことで、コブシが咲く時期にイネの種まきをするところから呼ばれている。

とにかく、今年は、きれいな桜の花を十分堪能できる。

